



エンジンカッターの爆音に思わず耳をふさぎます。
小学校3年生の社会科見学

平成22年度全国統一防火標語

「消したかな」
あなたを守る
合言葉

主な内容

- 1 ページ……新型の消防車を導入
- 2 ページ……住宅用火災警報器の設置促進
- 3 ページ……消防本部の新体制スタート
- 4 ページ……わがまちの消防団(久富木・平川分団)
つるだ同朋保育園婦人防火クラブ結成
- 5 ページ……消防本部の新ホームページ紹介
消防ほつと写真館

最新型の消防車を導入



高圧噴霧消火装置での放水

さつま町消防本部はこのほど、水槽付消防ポンプ自動車（通称「タンク車」）を更新し、さらに資機材搬送車を新たに導入しました。

★水槽付消防ポンプ自動車

タンク車は、全国規模の災害発生時に出勤する災害支援隊（緊急消防援助隊）に対応するため、4輪駆動車に高出力エンジンを搭載し、悪路や長距離の走行能力を強化するとともに、資機材の収納スペース確保と風雨等からの保護を目的としてオールシャッター式となっています。

また、積載水量を従来の1.5トンから2.0トンに増強するとともに、コードリール式のホースを最大100mまで延長可能な高圧噴霧消火装置を新たに装備し、消火能力の向上と積載水の節約を図りました。



小型クレーンによる資機材搬送訓練

その他にも電動式油圧救助器具等を新たに装備し、火災に限らず多様な災害に対応できるようになっています。

★資機材搬送車

資機材搬送車は、小型トラックに最大2.3トンの吊上げ能力を有する小型クレーンを装備しており、大型テント、発電機、アルミボートといった重量物を最大3トンまで積載可能です。また、普通車並みの小回りと4輪駆動車仕様となっており、道路幅の狭い林道や河川敷等もスムーズに走行することができます。ため、タンク車・救助工作車といった大型車両が進出不可能な場所等をカバーし、必要に応じて消火、救助、救急資機材を積み替えて現場へ搬送する役目も担っています。

さつま町内すべての住宅への 住宅用火災警報器設置義務化まで



カウント!

あと

364日

※平成 22 年 6 月 1 日現在

消防法の改正により、平成18年6月1日から「新築住宅」への住宅用火災警報器の設置が義務付けられていましたが、いよいよ来年6月1日からは、新築を含めた「すべての住宅」への住宅用火災警報器の設置が義務化されます。

現在のさつま町内の設置状況は、認知度や設置意識共に高まってきているとはいえ、未だ約65%の設置率にとどまっているのが現状です。

住宅火災での死者の多くが逃げ遅れによって発生しており、住宅用火災警報器の設置によって火災の発生を早く知り、逃げ遅れを防ぐ効果が期待できます。

大切な家族の命を守るためにも、一刻も早い設置をお願いいたします。

消防本部では、全戸設置に向けて、「住宅用火災警報器設置促進委員会」を立ち上げ、公民会長さんや地元消防団等のご協力をいただきながら、設置促進を強力に進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

要チェック



★設置は寝室へ!

逃げ遅れによる死者をなくすために、必ず寝室に設置してください。台所などにも設置する場合は、寝室に設置した後、追加して設置することになります。

★機種は煙式を!

寝室に設置する機種は、煙を感知して発報する煙式の警報器を設置してください。

電池切れに注意

平成18年ごろに設置された住宅用火災警報器は、電池の寿命がきている機種もあります。電池切れの場合、いざというときに作動しないおそれがあります。

該当時期に設置された方は、取扱説明書などで確認の上、点検をしてください。

お問い合わせ

予防係 Tel 52-0119

※ 悪質な訪問販売にご注意ください ※

消防職員のような服装や態度で無理やり購入をせまったり、法外な値段で売りつけるなどといった悪質な訪問販売に十分ご注意ください。少しでもおかしいと思ったら、「すぐに契約をしないで」消防署までご連絡ください。

予防係 電話 52-0119

まつま町消防本部 新体制スタート



まつま町消防本部 2代消防長
高木 卓朗 (56歳)

- 1 昭和48年 神戸市消防局入庁
昭和56年 祁答院地区消防組合
発足と同時に入庁
- 2 平成17年 まつま町消防本部
初代消防署長に就任
- 3 平成22年 まつま町消防本部
2代消防長に就任

就任挨拶

私こと4月1日をもちまして、消防本部次長兼消防署長から消防長に就任いたしました。

ご承知のとおり、消防は各種災害から地域住民の生命と財産を守るという崇高な使命のもと、地域社会の福祉の増進に重要な役割を果たしてきました。

しかしながら、昨今における国内の災害発生状況を見ますと、地震、台風、集中豪雨などの自然災害に加え、新型インフルエンザの流行やグループホーム火災等が多発し、災害は複雑多様化しております。

急激に進展している高齢化は、急病人や交通事故の増加にも極めて深い関係にあることから、消防救急業務の果たす役割は益々重要なものになってくると思われます。今、消防行政にとりまして最優先の課題は「地域の安全と住民の安心・安全の確保」であります。このような状況の中で、消防の責務の重大さを深く認識し、地域住民の皆様の期待に応えるため、消防力の整備強化はもとより、地域消防団等との一層の連携

強化を図りながら、防災対策の推進や災害時要援護者の安全確保の推進、並びに救急業務の高度化による救命率の向上に努めるなど消防行政の重要課題に取り組みでいく所存であります。併せて、職員一人ひとりの自己研鑽と人命の尊さをいつも念頭に置き、安全で安心な地域づくりを目指し、最大限の努力をしてみたいと思っております。

今後とも皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



角 洋一郎 (34歳)

救 急救命士に合格



村田 健一 (30歳)

気 管挿管救命士に認定

今年3月に実施された救命士国家試験に角洋一郎消防副士長(34歳)が合格。当消防本部12人目の救命士が誕生しました。

村田健一消防副士長(30歳)が病院手術室での厳しい実習を終え、当消防本部9人目の気管挿管(口から気管へチューブを挿入する高度救命処置)ができる救命士に認定されました。

新人消防士紹介

平成22年4月1日付け採用

こすぎ こうへい
小杉剛平です!



薩摩川内市出身の23歳です。夢だった消防士という仕事に就くことができました。社会人としての責任と自覚をもって、町民の方々が安心して暮らせるように頑張りたいと思います。



いで のう え ひろ た か
井手之上裕貴です!



まつま町佐志出身の18歳です。特技は小さい頃から高校までずっと続けてきた水泳です。まだわからないことばかりですが、精一杯頑張っていきますのでよろしくお願いします。



シリーズ わがまちの消防団

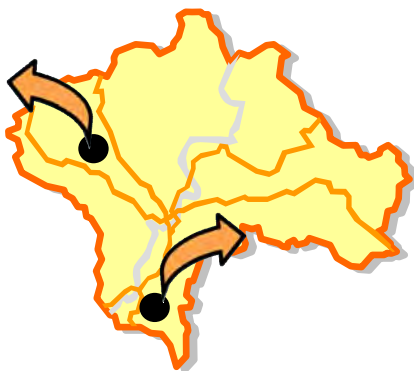
平川分団

※平成22年4月1日現在

分団長 北原 雅士
副分団長 竹井 好博 以下18名
管轄～平川区全域（356世帯818名）

平川区もほかの地区と同様に人口の減少、高齢化が進んでいます。団員も定数20名に対し2名足りていない中で、消防団活動はもちろん、地域活動にも積極的に参加し、平川区の活性化の一端を担っていると自負しています。

また、今年度は8月に開催される操法大会にも小型ポンプの部に出場します。分団員一丸となり訓練に励み、上位入賞を目指します。



久富木分団

※平成22年4月1日現在

分団長 三浦 優
副分団長 田上 政喜 以下23名
管轄～久富木区全域（305世帯714名）

久富木分団は、久富木川中流の田園地帯にあり、五つの公民会の生命・財産を守るために、日々頑張っています。

団員のほとんどが会社勤めですが、2年前に消防災害支援隊が結成され、団員の結束はもとより、消防災害支援隊との協力体制を強化し、今後、地域行事などにも積極的に参加しながら、住民と共に協力しあい、安心して過ごせる久富木区を目指していきます。



今年4月、つるだ同朋保育園に町内4クラブ目となる婦人防火クラブが結成されました。これまで同保育園には幼年消防クラブは結成されていませんでしたが、今回はそのお母さん方が子どもたちを見守るだけでなく、「自分たちも何かできることはないか」と結成されています。隊員10名で活動されています。

つるだ同朋保育園に 婦人防火クラブ結成



クラブ旗を授与される東郷隊長

今年8月8日に開催される支部操法大会に向けて、町代表として出場する団員が訓練に励んでいます。地域のみなさんのご声援をお願いいたします。

ポンプ車の部

- 中央分団 ○虎居分団
- 湯田分団 ○山崎分団
- 平川分団 ○泊野分団
- 南求名分団



いざ！消防団員のヒノキ舞台へ ポンプ操法訓練実施中！

ネットリアル

さつま町消防本部 のホームページ

さつま町消防本部のホームページが新しくなりました。

住民の皆さまに安全と安心をお届けするために、役立つ情報を随時更新していきます。ぜひアクセスしてみてください。

特色その1

安全安心情報メールに登録いただくと、火災などの災害情報を携帯メール等で配信してお知らせします。

特色その2

火災などの災害情報を、リアルタイムでホームページ上に表示してお知らせします。



さつま町消防本部ホームページ
<http://www.satsuma-net.jp/119/>

消防ほっと写真館



山崎中生徒会長の森園礼美さんが防火を呼びかけました。
【一日消防署長】



消防フェスタで、ちびっ子たちが綱わたりに挑戦しました。
【さつまフェスタ】



勤労感謝の日を前に園児が署員を癒してくれました(*^_^*)
【勤労感謝の日園児訪問】



春の火災予防運動を前に、入賞者15名を表彰しました。
【防火ポスター表彰式】



男子生徒3人が放水やレスキュー体験などに挑戦しました。
【宮之城中職場体験学習】



幼年消防クラブを退団する年長児が防火を誓いました。
【旭・しび保育園退団式】